allcinema

アンナ・カレニナ（1948）

ANNA KARENINA

メディア 映画
ジャンル ドラマ　文芸
製作国　イギリス
色彩　B&W
時間　116分
初公開日 1951/09/11
公開情報 東和＝東宝

【解説】

ガルボ版は９３分だったのに、時代を追うごとに尺数が伸びて、６８年のソ連版（カラフルで、タチアナ・サモイロワが最もアンナらしかったのは確か）は約二時間半。７０ｍｍの超大作なので致し方なしだが、このリー主演の英国製は、仏のデュヴィヴィエを演出に招いたが色彩はなく、やはり２時間弱が持たない。ガルボ版でも後半はもたれたのだから、メロドラマの典型として多くの女優の演技意欲をかき立てるトルストイの原作。Ｃ・ビートンの衣装をとっかえひっかえ、リーはかなりののめり込みようで、実際、俗物官僚の夫（リチャードソン、さすがにうまい）を嫌い、美青年伯爵ヴロンスキー（ムーア。彼はいかにも線が弱い）と愛の逃避行に至るアンナの激情を、最もよく表現したのは彼女の芝居だろう。元来、冷たい表情に熱病的雰囲気を持った“スカーレット”女優だから、これは未見の方にも想像のつくことと思う。

【クレジット】

監督	ジュリアン・デュヴィヴィエ	Julien Duvivier
製作	アレクサンダー・コルダ	Alexander Korda
原作	Ｌ・Ｎ・トルストイ	L.N. Tolstoy
脚本	ジャン・アヌイ	Jean Anouilh
	ガイ・モーガン	Guy Morgan
	ジュリアン・デュヴィヴィエ	Julien Duvivier
撮影	アンリ・アルカン	Henri Alekan
出演	ヴィヴィアン・リー	Vivien Leigh
	ラルフ・リチャードソン	Ralph Richardson
	キーロン・ムーア	Kieron Moore
	サリー・アン・ハウズ	Sally Ann Howes
	ニオール・マッギニス	Niall MacGinnis
	マーティタ・ハント	Martita Hunt

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.